

令和6年度 進行管理・評価シート
明和町歴史的風致維持向上計画（平成24年6月6日認定）
（最終変更 令和7年3月24日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画実施に向けた連携体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 都市マスタープランの特定用途制限地域の取組み	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 史跡公園(社の森広場)整備事業	3
2 史跡公園(東加座広場)整備事業	4
3 竹神社前ポケットパーク整備事業	5
4 案内標識・サイン整備事業	6
5 斎宮・斎王に関連する地域との連携事業	7
6 歴史的文化遺産に関する総合的な情報発信事業	8
7 体験プログラムなど魅力のある歴史的文化遺産の活用の構築	9
8 歴史的建造物等の活用整備事業	10
9 歴史的文化遺産景観形成事業	11
10 歴史的文化観光講座事業	12
11 ガイドボランティア育成事業	14
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財調査、町による文化財指定	15
2 文化財の防災・防犯	16
3 文化財に関する保存・活用の普及及び啓発	17
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 大淀祇園祭の安全を祈願 祭典委が事始め神事 ほか	22
⑥その他(効果等)		
1 住民意識の向上	26
2 学校教育との連携	28

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	30
--------------------------------	-------	----

評価軸①-1
組織体制

	評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況	

計画実施に向けた連携体制	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--------------	---

計画に記載している内容
 歴史的風致の維持及び向上に係る歴史まちづくりは、歴史・文化だけでなく、建設、観光、都市整備等の多分野に及ぶものであることから、庁内の各種関係部署などで構成した「明和町歴史的風致維持向上計画策定庁舎内会議」を設置し、相互の連絡調整を密に行うものとする。また、「三重県」や「明和町歴史的風致維持向上計画協議会」との連絡調整を行うと共に、「明和町文化財保護審議会」等への意見照会及び報告を行い、計画の実現を図るものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

まちづくり戦略課、建設課、斎宮跡・文化観光課が中心となって事業の進捗管理、評価について協議し、推進している。
 令和6年度は、歴史的風致維持向上事業の第2期計画の円滑な実施に向けて、町議会、課長会議での事業の周知、地元自治会、関係団体へ事業の説明及び連携調整を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
--	--------------------------

状況を示す写真や資料等

計画策定時
(平成23年度)

- 建設課 1人
- 企画課 1人
- 斎宮跡課 1人



平成24年度

- まち整備課 工務係 1人
- 斎宮跡・文化観光課 文化財係 1人
- 文化観光係 1人



明和町歴史的風致維持向上計画協議会(書面決議)
 (令和7年3月21日)
 【協議内容】
 1. 令和6年度進捗状況について
 2. 歴まち2期計画の軽微な変更について
 3. その他



平成26年度～令和元年度

- まち整備課 工務係 1人
- 斎宮跡・文化観光課 文化財係 2人
- 文化観光係 1人



令和2年度～6年度

- まちづくり戦略課 まち開発係 1人
- 建設課 土木係 1人
- 斎宮跡・文化観光課 文化財係 2人
- 観光係 1人

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	現在の状況
都市マスタープランの特定用途制限地域の取組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 景観の保全には規制が伴うことから、景観については、この歴史的風致維持向上計画の各事業を推進していくことで住民意識が芽生え、景観保全の機運の高まりと共に、明和町景観計画の策定や三重県屋外広告物条例制度の活用を、地域住民と協働して検討していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

町全域における特定用途制限地域の指定に向け、「明和町特定用途制限地域における建築物等の制限に関する条例」及び「明和町特定用途制限地域における建築物等の制限に関する条例施行規則」を平成27年4月1日に公布し、平成27年10月1日に施行した。
 重点区域内の景観の規制について、令和5年5月に実施した都市計画マスタープランの見直しで位置づけし、令和6年度から、「明和町立地適正化計画」の策定に向けた作業を開始した。また、風景条例(案)の素案作成および景観行政団体への検討。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

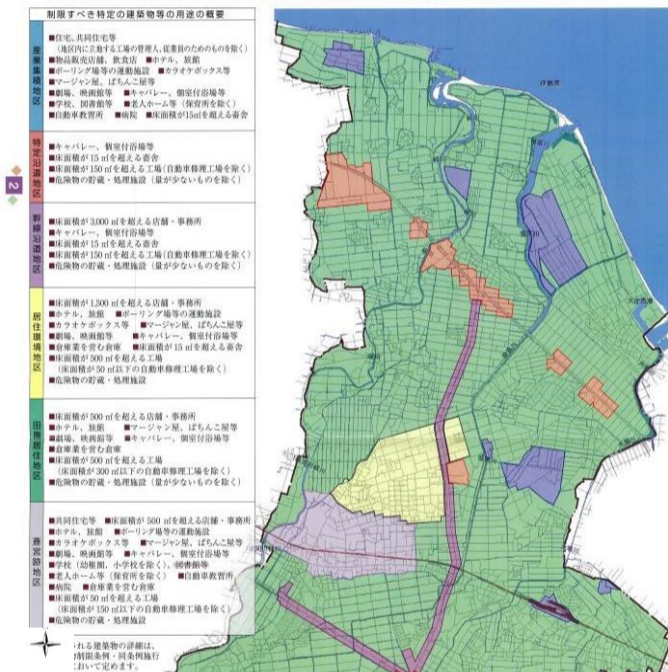
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

継続して県との調整会議を実施する中で、方針として計画期間中に町が景観行政団体になるよう取り組むこととなっている。

状況を示す写真や資料等

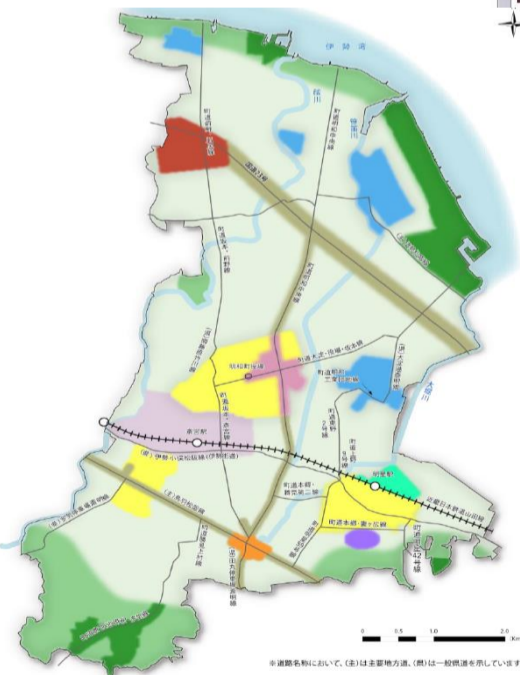
特定用途制限地域の指定区域と制限される建築物の概要

明和町全域に6つの特定用途制限地域を指定します。それぞれの特定用途制限地域の方針と制限される建築物等の概要は次のとおりです。



明和町都市計画マスタープラン

- 都市形成ゾーン
 - 広域型商業地
 - 中心市街地
 - 近隣商業地
 - 一般住宅地
 - 低層住宅地
 - 工業地
 - 産業創造地区
- 沿道型土地利用ゾーン
- 農業共生ゾーン
- 自然環境ゾーン
 - レジャー地区
 - 自然環境地区
- 歴史・文化ゾーン



制限地区	特定用途制限地区	幹線沿道地区	居住環境地区	田園居住地区	景観地区
工業団地等(用途別)及び町域利用(用途別)による景観の向上を図る区域	沿道型土地利用(用途別)による景観の向上を図る区域	沿道型土地利用(用途別)による景観の向上を図る区域	沿道型土地利用(用途別)による景観の向上を図る区域	沿道型土地利用(用途別)による景観の向上を図る区域	沿道型土地利用(用途別)による景観の向上を図る区域

明和町特定用途制限地域

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況	
史跡公園(社の森広場)整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和6年度～令和8年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業【都市再生整備計画事業 史跡公園(社の森広場)】

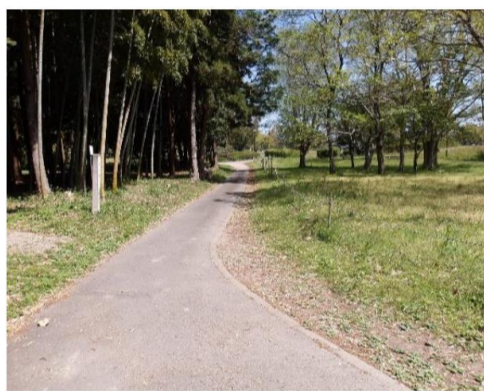
計画に記載している内容
 第1期計画では、用地取得及び進入路の整備を実施。
 第2期計画では、旧竹神社、旧小倉神社、旧若宮の3神社跡地を「社の森」として整備し、地域住民や来訪者が神聖な雰囲気を感じ取れる場所とする。
 整備にあたっては、初期斎宮の場所と隣接しており、文化庁と協議をしながら進めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

散策道整備を実施するため、整備の内容、事前の発掘調査のスケジュールなどを三重県教育委員会、斎宮歴史博物館と協議した。発掘調査と整備は令和7年度に実施予定。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



現況(南から)



現況と散策道案(西から)

進捗評価シート

評価軸③-2
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	現在の状況
史跡公園(東加座広場)整備事業	令和6年度	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和4年度～令和8年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業【都市再生整備計画事業 史跡公園(東加座広場)】

計画に記載している内容 齋宮寮は道路によって一辺120mの区画が東西7列、南北4列に並ぶ基盤目状の都市的な区画造成がなされ、各区画に役所などが立ち並んでいた。
各区画の一部に案内説明板などを設置し史跡公園として整備することで、往時の齋宮の姿を体感してもらう。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

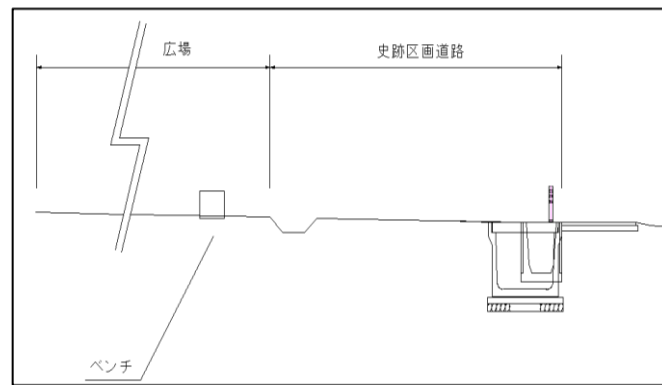
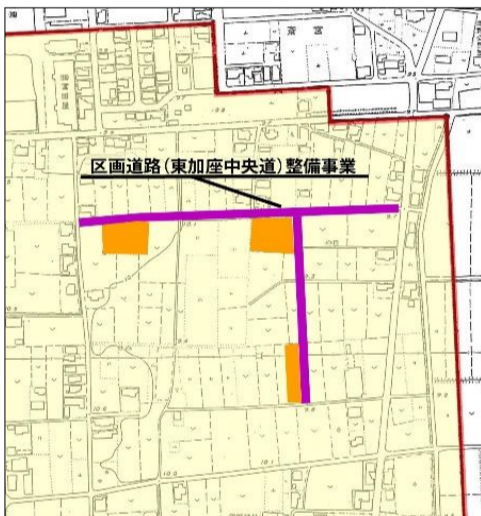
・公園整備:118㎡を実施。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



改修前

改修後

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和6年度
--	--------	-------

項目	現在の状況
竹神社前ポケットパーク整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和4年度～令和6年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業【都市再生整備計画事業 都市公園(竹神社前ポケットパーク)】

計画に記載している内容 竹神社交差点の伊勢街道沿いにポケットパークとして整備し、伊勢街道の説明板やベンチを設置する。

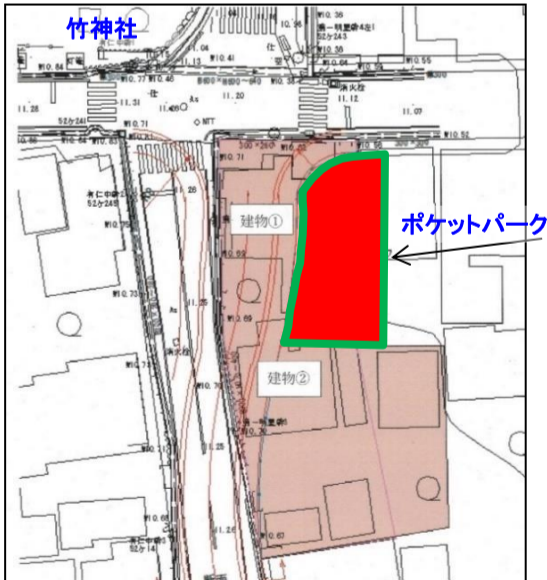
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

改良された県道の交差点脇に、竹神社前ポケットパークを施工するため、文化庁、地元関係団体と協議し、東屋1棟を含む公園施工を完了した。(162㎡)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



竹神社前ポケットパーク

評価軸③-4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	現在の状況
案内標識・サイン整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和3年度～令和8年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業【都市再生整備計画事業 地域生活基盤整備】

計画に記載している内容 誘導案内板に関して「史跡斎宮跡案内サイン等整備ガイドライン」に基づき、来訪者にわかりやすい統一したものに改修及び新設する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「史跡斎宮跡案内サイン等整備ガイドライン」に基づき、路上誘導サイン設置工事として、公園内に9基のサイン設置を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



サイン設置位置図

園路、歩道等

解説標識 (エリア)

大型陶板 自然石

○各ゾーンや拠点の境界で多くの散策が想定される動線の交点付近
○次のエリア解説標識へ来訪者を誘導する上で有効な箇所



サイン設置概要

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
齋宮・齋王に関連する地域との連携事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和3年度～令和12年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	都から齋宮、齋宮から都への齋王が通ったゆかりの市町村と連携し、齋宮・齋王に関わりのある市町村が協議をして、全国PRに取り組む。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
齋宮と関連のある「国指定史跡 久留倍官衙遺跡」との連携協定に基づき、本年は、連携事業として、四日市市久留倍官衙遺跡パネル展(令和7年3月15日～3月30日)をさいくう平安の杜で開催。(来場者512人)また、四日市市くべ古代歴史館で開催された「明和町出張展 日本遺産」(令和7年3月15日～3月30日)には、201人の来場があった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	広域にわたることと、同様のサミット会議があることから、設立の趣旨を明確にすることが必要。今後は、事業計画(案)などを作成し、設立準備会を開催する。		
状況を示す写真や資料等			
(趣旨)			
都から齋宮・伊勢神宮、齋宮から都へ齋王群行が通った市町、或いは齋王にゆかりのある市町とサミットを開催し、齋王に関わる市町が齋王にまつわる物語や歴史を掘り起こし、連携して全国にPRし、地域の活性化に寄与する。			
			
四日市市久留倍官衙遺跡パネル展 (さいくう平安の杜 西脇殿)			
			
四日市市くべ古代歴史館出張展(3月15日～3月30日)			

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	現在の状況
歴史的文化遺産に関する総合的な情報発信事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和3年度～令和12年度		
支援事業名	民間事業		
計画に記載している内容	史跡齋宮跡や日本遺産構成文化財を重点区域の文化遺産をSNSの活用やパンフレット、散策マップ等で広く一般に情報発信をする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
1. 古民家を活用したインターネットラジオ局「齋宮すたじお」で齋宮の話題を情報発信。(毎週金曜日に30分番組2本放送)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

みんなのゆめかな 三重明和ステーション

あそぼう!伊勢齋宮☆歴史の泉
 ☆毎週金曜日 20:00～20:30

☆パーソナリティ
 文学博士 榎村 寛之
 アシスタント 瀬田 萌

伊勢神宮と絡めたおもしろい歴史と明和町の魅力をお話します。

なかのっちの集まれ!齋宮すたじお☆
 ☆毎週金曜日 20:30～21:00

☆パーソナリティ
 齋宮すたじお 中野 敦夫
 アシスタント 瀬田 萌

集まってくれた人たちと日々感じたことや生き方、経験話、そして明和町のまちづくり情報などをワイワイガヤガヤと楽しくおしゃべりします。

三重明和ステーション
 齋宮すたじお
 〒515-0321 三重県多気郡明和町大字齋宮3016-1
 TEL: 090-4864-0518 (携帯:代表 中野敦夫)
 Mail: anakano@a-company.net

2025年2月号

みんなのゆめかな 三重明和ステーション
2月のオススメ!

あそぼう!伊勢齋宮☆歴史の泉
 パーソナリティ 文学博士 榎村 寛之 アシスタント 瀬田 萌
 毎週金曜日 20時00分から放送 過去(1か月間)の放送聴けます。

なかのっちの集まれ!齋宮すたじお☆
 パーソナリティ 齋宮すたじお代表 中野 敦夫 アシスタント 瀬田 萌
 毎週金曜日 20時30分から放送 過去(1か月間)の放送聴けます。

「齋宮すたじお」番組情報
 パソコンやスマートフォンなどでみんなのゆめかな検索
<https://www.m-yumekanaradio.com/> みんなのゆめかな HP

放送日	あそぼう!伊勢齋宮☆歴史の泉	なかのっちの集まれ!齋宮すたじお☆
2月7日	〈内容〉伊勢街道にぎわいづくりシンポジウムの案内・1/13の「平安時代ここだけの話」トークイベントのここの話	【ゲスト】東京海洋大学4年生 中野花遊さん & (一社) 明和観光商社 代表理事 千田良仁さん・花遊さんの卒業論文のテーマ「海草と観光」について語る・卒業してからの活動は?
2月14日	〈内容〉3/20 第11回コスプレ博物館参加賞募集の案内と当日の特典情報・齋宮学講座で言わない「齋宮品展」の話①	【ゲスト】文学博士 榎村寛之さん・明和町各地で行なわれてた会式(えしき)について・唐人踊りの話について
2月21日	〈内容〉2/22開催「齋宮学講座」とエムちゃん先生が見つけた「齋宮品展」の案内・齋宮学講座で言わない「齋宮品展」の話②	【ゲスト】(一社) 明和観光商社 代表理事 千田良仁さん & (株) マインドシェア 中岡真紀子さん・花づくりの取り組み変更について・2/23のイベントについて
2月28日	〈内容〉1/18開催「めいわ文化遺産講座」の振り返り・齋宮学講座で言わなかった「齋宮品展」の話③	【ゲスト】明和伊勢・クリエイターズ・ギルド 西森さん・YouTube配信事業子会・最新気になるアニメ2作について

伊勢(参宮)街道にぎわいづくりにあわせてシンポジウム
 2月16日(日) 13:00～16:00
 会場: 参宮街道博物館 3階 311号展示室
 参加費: 無料 50名(定員) 申込: 不要

入場無料
 2月16日(日) 13:00～16:00
 会場: 参宮街道博物館 3階 311号展示室
 参加費: 無料 50名(定員) 申込: 不要

伊勢(参宮)街道にぎわいづくりにあわせてシンポジウム
 2月16日(日) 13:00～16:00
 会場: 参宮街道博物館 3階 311号展示室
 参加費: 無料 50名(定員) 申込: 不要

齋宮すたじお
 〒515-0321 三重県多気郡明和町大字齋宮3016-1
 Mail: anakano@a-company.net ☎090-4864-0518



明和中学2年生 明和ふるさと体験学習のラジオ収録風景 (11月19日)

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	現在の状況
体験プログラムなど魅力のある歴史的文化遺産の活用の構築	令和6年度	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 県、町事業
民間事業(文化庁補助 全国各地の魅力的な文化財活用推進事業)

計画に記載している内容 斎宮跡の整備された区域を奈良・平安時代の装束を着て散策し、当時の雰囲気を感じてもらうなどの体験プログラムを構築し、国内外の旅行者の満足度向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

1. さいくう平安の杜で平安時代の衣装を試着して書道や遊びなど貴族の体験を開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



歴史ロケーション×壺装束体験 (10月21日)



平安貴族体験

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	現在の状況
歴史的建造物等の活用整備事業	令和6年度	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和4年度～令和8年度

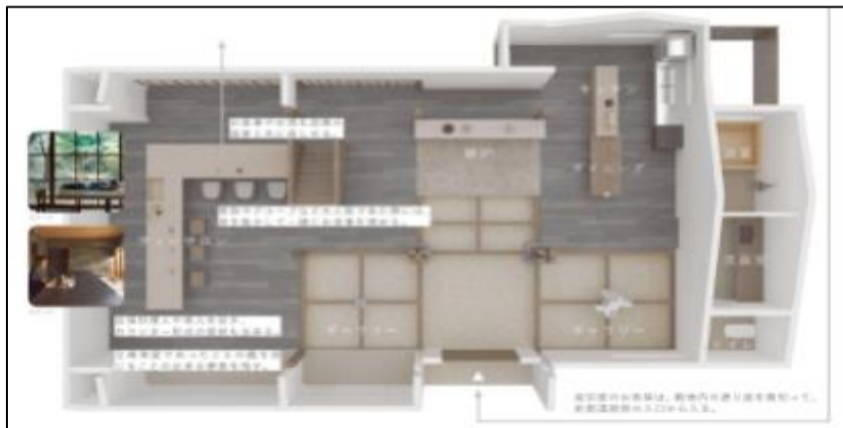
支援事業名 民間事業(歴史的資源を活用した観光まちづくり推進事業)

計画に記載している内容 重点区域内を通る伊勢街道沿いの歴史的な趣が残る町家等を活かし、地域住民との交流や来訪者の利便性を図るため、散策者の休憩・案内施設として、場所を検討し、地域の人の同意を得て、整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

伊勢街道沿い古民家を保存と活用のため所有者と交渉し、宿泊可能な施設としての改修に向けて協議中。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	



1階部分改修概略設計案



2階部分改修概略設計案

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和6年度
--	--------	-------

項目	現在の状況
歴史的文化遺産景観形成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 県、町連携事業(社会資本整備総合交付金事業【都市再生整備計画事業 都市公園(竹神社前ポケットパーク)】)

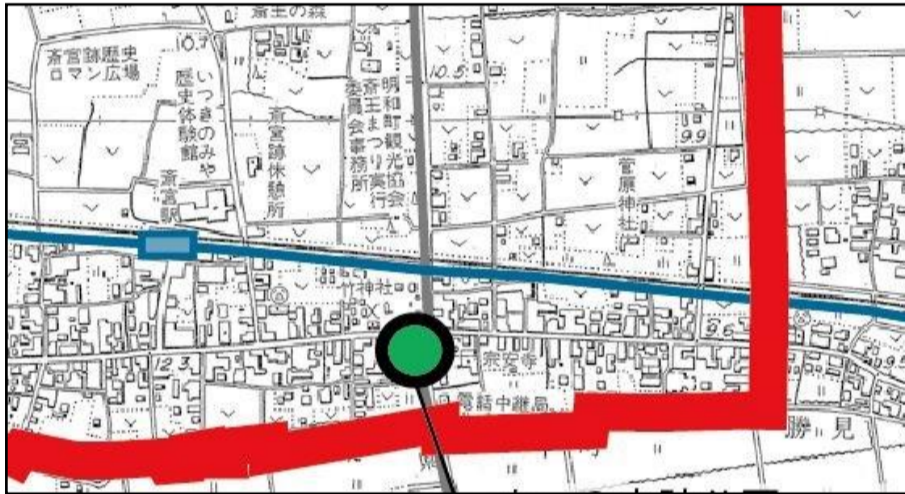
計画に記載している内容 斎宮跡地内・日本遺産構成文化財周辺を景観に配慮した美装化を図るため、企業等の協力も得ながら、欄干・ガードレール・カーブミラー・各種標識柱等の色を統一する。また、景観を阻害する空き家・工作物等を撤去するなど歴史的周辺環境の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

伊勢街道沿いの公園に、県道と合わせたカラー舗装を実施。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない



伊勢街道沿いの竹神社前ポケットパーク カラー舗装

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	現在の状況
歴史的文化観光講座事業	令和6年度	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 県事業、町単独事業
文化芸術振興費補助金事業【地域文化財総合活用推進事業】(文化庁)
民間事業

計画に記載している内容 来訪者や町民(子どもを含む)を対象にした歴史・文化財・観光についての講座を開催する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

1. 文化財講演会 (令和6年8月20日開催 参加者39名)
2. 轉輪寺カフェ寺ス(石器について)(10月2日 参加者11名)
3. 指定文化財仏像修繕報告会の開催 (11月4日 参加者20名)
4. 県史跡坂本古墳群 指定20周年記念講演会の開催(11月23日 参加者72名)
5. 斎宮歴史博物館斎宮学講座(12月7日 参加者48名)
6. めいわ文化遺産講座(令和7年1月18日 参加者37名)
7. 明和町郷土文化を守る会講演会(2月15日 37名)
8. 都市部(大阪、名古屋、オンライン)での連携講座(9月9日、30日、3月3日、19日 参加者490名)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



文化財講演会(8月20日)



指定文化財仏像修繕報告会(養川)
(11月4日)



県史跡坂本古墳群記念講演会(11月23日)

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度 令和6年度
歴史的文化的観光講座事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

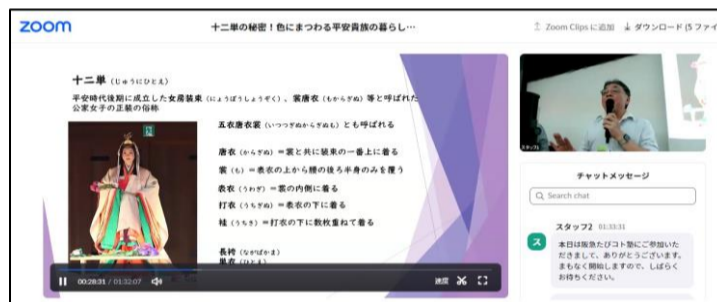
状況を示す写真や資料等



めいわ文化遺産講座チラシ



めいわ文化遺産講座(下御系地区)
(1月18日)



都市部での連携講座
(9月9日、30日、3月3日、19日)



郷土文化を守る会講演会(2月15日)

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和6年度
--	--------	-------

項目	現在の状況
ガイドボランティア育成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 県事業
町単独事業

計画に記載している内容 日本遺産の構成文化財が多く所在する大淀地区にガイドボランティアを設立し、講習会など開催し、活動内容の充実を図る。また、斎宮地区の斎宮ガイドボランティアと連携して重点区域の魅力を来訪者に伝えられるようにする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

1. 毎月末に月例会を実施勉強会を行い内容の充実を図った。
2. ガイド講習会は、斎宮歴史博物館学芸員が実施し、専門的知識を学んだ。
3. 三重県事業として、「お伊勢参り」の歴史・文化を伝えるガイド養成講座(全5回)」が開催された。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

回/日	時間	講座概要	会場
第1回 12/19 (木)	13:00~ 16:30	○オリエンテーション：○講座1.『文化観光とはどのようにして実現するものか～ガイドへの期待』(90分) 講師：三重県文化振興課 伊藤文彦氏 ○講座2.『博物館の展示を通して知るお伊勢参りと斎宮の文化』(90分) 講師：三重県総合博物館 学芸員 太田 光俊氏 展示解説付き	三重県 総合博物館 2階 レクチャールーム
第2回 12/26 (木)	13:00~ 16:30	○講座3.『神宮ゲートウェイ斎宮と伊勢神宮とのつながりの物語』(90分) 講師：斎宮歴史博物館 学芸員 天野 秀昭氏 ○講座4.『文化観光ルートにおけるガイドの役割とコミュニケーション手法』(90分) 講師：株式会社・ファイブ 代表取締役 木谷敏雄氏 ○交流会・懇親会(軽食による懇親会) 60分程度	斎宮歴史博物館 講堂
第3回 1/23 (木)	13:00~ 16:30	○講座5.『お伊勢参りの文化観光ルートのインバウンド誘客の可能性』(90分) 講師：(一社)地域未来企画 インバウンドディレクター 魚地啓吾氏 ○講座6.『インバウンドに向けたガイドの実践の実状とポイント』(90分) 講師：通訳案内士 安井久美氏	斎宮歴史博物館 2階研修室
第4回 1/30 (木)	10:00~ 17:30	○講座7.『お伊勢参りの文化観光ルートの実践』講師：株式会社・ファイブ 木谷敏雄氏/通訳案内士 安井久美氏 ※実際のモデルルートに基づき、台本をもとに実践を行います。	斎宮、歴史体験館などのフィールド
第5回 2/13 (木)	13:00~ 17:00	○講座8.『安全管理・運営マニュアルについて』講師：明和町防災安全課消防防災アドバイザー/松阪地区広域消防組合明和消防署 ○振り返りの会/(一社)明和観光商社 事務局長 安藤直樹	斎宮歴史博物館 2階研修室



ガイド養成講座

2024年度

ガイドの案内実施記録

内 予約案内

月	ガイド 人	案内 (組)	来客者数合計			ガイ ド 人	案内 (組)	来客者数合計		
			県内	県外	合計			県内	県外	合計
4月	55	93	303	90	393	11	4	102	0	102
5月	42	90	169	82	251	3	2	24	19	43
6月	61	102	205	165	370	11	7	38	122	160
7月	48	61	106	150	256	5	4	20	72	92
8月	46	51	79	46	125	3	2	9	0	9
9月	52	53	70	100	170	6	2	4	42	46
10月	50	74	96	102	198	4	3	0	35	35
11月	58	73	136	330	466	18	7	52	240	292
12月	37	55	61	104	165	3	2	19	10	29
1月	47	54	71	35	106	5	2	20	20	40
2月	39	65	190	40	230	6	2	65	0	65
3月	40	77	38	31	30	0	0	0	0	0
合計	575	848	1,524	1,275	2,760	75	37	353	560	913

斎宮ガイドボランティア

令和6年度 案内の実績(2024年4月～2025年3月)

- ・案内件数 848件
- ・案内総人数 2760人

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況	

文化財調査、町による文化財指定

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容
 有形の文化財については、現状の保存状態を調査し、修理の必要な文化財には対策を講じ、無形の文化財については、継承を図れるよう支援する。
 未指定の文化財については、順次、調査・研究を行い、得られた結果から適切な価値付けを行って、必要に応じて文化財の指定について検討を行っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

1. 勝見地区で文化遺産の聞き取り調査を実施。
2. 旧陸軍兵舎跡の測量調査を実施。
3. 上村地区で味噌蔵の測量調査を実施。
4. 指定候補であった高塚1号墳を町文化財に指定。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



勝見文化遺産聞き取り調査
8月7日



兵舎基礎測量調査
(齋宮北野) 12月18日



上村味噌蔵測量調査
12月24日



町文化財に高塚1号墳を指定
(上村) 3月24日

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	現在の状況
文化財の防災・防犯		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 指定文化財は、行政だけではなく、文化財の所有者、管理者、地域住民の参加を呼びかけ、防災・防犯意識の啓発に努めるとともに、どのような訓練が必要か、文化財の緊急避難先はどこか、などをあらかじめ協議し、未指定文化財は、災害・盗難発生時に県や、他機関とも情報共有を行い、広域的な保存施策がとれるよう、文化財・歴史文化資源リストの作成を行い、リストの充実を行うことで、災害・盗難発生時の迅速(じんそく)な対応がとれるよう整備に努める。また、必要に応じて防犯カメラや消防設備の設置及び最新設備への更新、耐震の措置を図るよう努め、文化財の防災・防犯に対する備えを万全にする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財防火デーに合わせて、いつきのみや歴史体験館、さいくう平安の杜は、1月29日に防火訓練(放水訓練)を実施した。また、消防用設備、消火器の点検や取り扱いの指導も行われた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



いつきのみや歴史体験館(令和7年1月29日実施)



さいくう平安の杜(令和7年1月29日実施)

評価軸④-3
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目	現在の状況	
文化財に関する保存・活用の普及及び啓発	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	史跡斎宮跡をはじめ町内各地に点在する文化財等の歴史的資源に対して、町広報等で紹介したり、各種イベントやシンポジウムの開催時に啓発や発表の場を設けて、町民、来訪者が触れ親しむ機会を一層創出することで、文化財の保存及び活用に対する地域住民の理解をさらに深められるような普及啓発活動に努める。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
1. 企画展「明星地区の古代の暮らし」を小林農産ふるさと会館2階にて令和6年7月13日～8月25日に開催した。(来館者165名)展示に関するワークショップを7月21日、8月4日に開催した。 2. 解説シートを2種類作成、さいくうあと通信39号を発行 3. 史跡斎宮跡発掘調査現地公開の実施(令和6年10月13日:見学者118名、令和7年2月1日:見学者110名) 小社遺跡発掘調査現地公開の実施(令和7年3月3日:見学者34名) 4. 史跡を活用した各種イベントを実施		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等

明和町令和6年度企画展「先人が残した小さな足跡」7/13～8/25
 解説会&ワークショップ「石器を使ってみよう!」開催

一般向け展示解説会
 明和町の文化財館蔵による展示内容の解説を行います。
 明和町の旧石器時代、縄文時代について、その時代の道具について実物を見ながら解説します。

ワークショップ
 アイブ形石器を使ってみよう!
 新石器時代には石で作られたアブという石も使われていました。
 このアブ形石器を使ってアブの形を磨きかためてみましょう。

ワークショップ
 石面を使ってみよう!
 縄文時代には木の葉を加工する石製の石臼と石臼を磨いて使っていました。
 この石臼を使って石臼を加工して加工してみましょう。

ワークショップ
 土器の文様をつけてみよう!
 縄文土器にはたくさんの文様の文様がつけられていました。
 文様をつけるための道具を使って土器にいろいろな文様をつけてみましょう。

第1回 7/21(日)
 解説会 13:00～13:30 ワークショップ 14:00～15:00
 第2回 8/4(日)
 解説会 10:00～10:30 ワークショップ 11:00～12:00

会場: 小林農産ふるさと会館2階
 事前申し込み・参加費: 不要
 主催: 明和町教育課・文化観光課 | お問い合わせ TEL 0596-52-7126



ワークショップ石器を使ってみよう
(7月21日、8月4日)

展示チラシ(令和6年7月13日～8月25日)

先人が残した小さな足跡 ～縄文時代編～

先人が残した小さな足跡 ～旧石器時代編～

展示解説シート

日本遺産のまち 明和町 さいくうあと通信 (1) 第39号 令和6年7月1日発行

さいくうあと通信

発行: 明和町 寄附金: 文化観光課 (三重県多気郡明和町大字馬之上2-845番地)
 電話: 0596-52-7126 FAX: 0596-52-7133 E-mail: saiyouatowtown-mie-mewa@isp

新しい指定文化財の紹介 ～木造大日如来坐像～

令和6年6月27日に開催された教育委員会において、下御糸地区八木戸の薬師寺が所蔵する「木造大日如来坐像」が新たに町指定文化財(有形文化財 彫刻)に指定されました。

本像は製作の特徴から平安時代後期の作と考えられ、浄土宗系の寺院が多い当町では数少ない密教彫刻である点も評価されました。

<特徴>

- ・時代: 平安時代(12世紀)
- ・所有者: 宗教法人薬師寺(八木戸)
- ・法高: 像高57.1cm(1尺8寸8分)
- ・彫刻造(おりはぎづくり)
(顔体幹部は針葉樹の一枚より彫成)
- ・髪(もとどり)の表現が、町内の丹歌寺の木造聖観音立像(町指定・平安時代作)と近似し、周辺地域の仏像彫刻史を考える上で興味深い表現
- ・伝承では「大日殿」から移した

特徴的な髪表現

令和5年度の調査の様子

さいくうあと通信39号

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度

令和6年度

項目

文化財に関する保存・活用の普及及び啓発

状況を示す写真や資料等



史跡齋宮跡(中垣内地区)発掘調査現地公開風景
(10月13日、2月1日)



小社遺跡現地公開(上野)
3月3日



齋王まつり (6月1日)



いつきのみや観月会の灯りイベント(9月16日)

評価軸④-3
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度

令和6年度

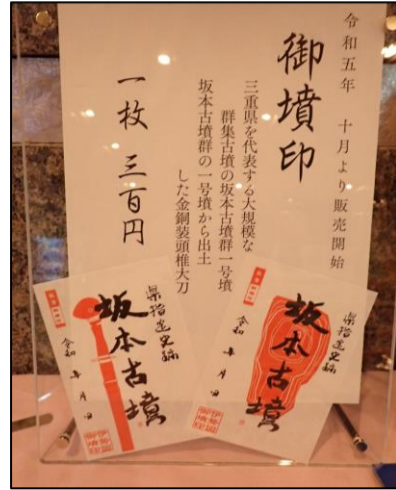
項目

文化財に関する保存・活用の普及及び啓発

状況を示す写真や資料等



御墳印オンライン交流会(6月22日)



ツーリズムEXPOジャパン東京2024 (9月26~29日)



日本遺産フェスティバルin会津 (10月26、27日)



大河ドラマ全国巡回展 齋宮歴史博物館(5月28日~6月2日)

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度

令和6年度

項目

文化財に関する保存・活用の普及及び啓発

状況を示す写真や資料等



こどもわいわいハロウィンパーティー



こどもわいわい音楽と遊びのスペシャルサンデー

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度

令和6年度

項目

文化財に関する保存・活用の普及及び啓発

状況を示す写真や資料等



プロジェクションマッピング(11月2、3日)



齋宮奉納新能(11月4日)



齋宮夜空の物語(2月23日)



プロジェクションマッピング体験(2月23日)

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		年月日	掲載紙等
・高塚1号墳、有志で草刈り 明和町郷土文化を守る会 全容分かる説明板も設置		R6.6.17	夕刊三重
・密教彫像、数少ない 明和町教委、町文化財に 木造大日如来坐像、指定 平安期作、薬師寺(八木戸)が所有		R6.7.1	夕刊三重
・2, 3日プロジェクションマッピング 源氏物語絵巻など投影 明和町齋宮さいくう平安の杜で 大淀祇園祭の山車、練り歩きや展示も		R6.11.1	夕刊三重
・明和町文化財に高塚古墳 72メートルの帆立貝式で町最大		R7.3.26	伊勢新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

史跡齋宮跡や日本遺産をはじめとする町内文化財の保存活用について各報道機関に取上げてもらったことで、町内外に周知することができた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

●明和町の文化財に関する記事

- ・大淀祇園祭の安全を祈願 祭典委が事始め神事(2024年4月8日 夕刊三重)
- ・「浅間さん」で無事祈願 富士山信仰の伝統行事 8月の大淀祇園と町内安全(2024年6月17日 夕刊三重)
- ・明和町郷土文化を守る会 延命寺や豪商邸宅巡る 竹川家の子孫が案内 射和商人の発祥地 (2024年6月18日 夕刊三重)口
- ・明和町 地域定着など新教科、郷土学習 小中で今年度から開始
自然や伝統行事など郷土愛育む 「副読本」試作、町内5小で運用開始
26年度の新小開校に向け 小中一貫教育の整備進める 大淀小では「大淀祇園祭」学ぶ 副読本に沿い 初の授業 (2024年6月17日 夕刊三重)
- ・高塚1号墳、有志で草刈り 明和町郷土文化を守る会 全容分かる説明板も設置 (2024年6月17日 夕刊三重)
- ・密教彫像、数少ない 明和町教委、町文化財に 木造大日如来坐像、指定 平安期作、薬師寺(八木戸)が所有(2024年7月1日 夕刊三重)
- ・疫病から集落守る「天王さん」わらのほこら 作り替え 明和(2024年7月8日 中日新聞)
- ・男性28人、5時間かかり 年に一度 新調作業 佐田西出天王さんのお社塔 明和町の無形民俗文化財(2024年7月8日 夕刊三重)
- ・薬師寺の坐像 文化財に 明和町 平安期の木彫刻(2024年7月11日 中日新聞)
- ・例年7月14日 猛暑心配、10月に延期 明和町無形民俗文化財 江戸から続く有爾中かんこ(2024年7月16日 夕刊三重)
- ・夏の風物詩 今年も「虫送り」火つけ豊作祈る 明和・養村 住民ら たいまつ持ち歩く(2024年7月17日 中日新聞)
- ・明和町指定文化財10周年 太鼓寄進から250周年 養村虫送りで豊作祈願(2024年7月17日 夕刊三重)
- ・ケーブルテレビ四木戸 木造大日如来坐像 指定書交付式(2024年8月5日 松阪)
- ・3万年前の暮らしに思いはせ 明和で出土 旧石器・縄文時代の遺物紹介 小林農産ふるさと会館 考古学的価値高い「環状壺形土器」も(2024年8月8日 中日新聞)
- ・木造大日如来坐像を指定 明和町文化財 薬師寺、12世紀の密教彫像(2024年8月13日 伊勢新聞)
- ・環状壺形土器や人面土板 明和町 旧石器・縄文時代の企画展 町内遺跡の出土品並ぶ(2024年8月17日 伊勢新聞)
- ・県伝統工芸に指定10年 復興、伝承の会創設15年 擬革紙、記念で特別展(2024年9月14日 夕刊三重)
- ・大淀祇園祭と花火大会題材 フォトコンテスト 明和 堀井さん 町観光協会会長賞(2024年9月24日 中日新聞)
- ・大淀祇園祭と花火大会 協会長賞に堀井さん(明和町大淀)フォトコン 松阪地区から5人が受賞(2024年9月27日 夕刊三重)
- ・「擬革紙」復興の歩みたどる 県伝統工芸、玉城町で記念展 継承の会15周年(2024年9月28日 伊勢新聞)
- ・ベトナム大使館から視察 松阪の角谷七郎兵衛(江戸初期貿易商)が縁
明和町のみと織 工場 松阪木綿 藍染め、織り上げ、一連見学(2024年10月8日 夕刊三重)
- ・坂本古墳群の魅力語る 県史跡指定20周年記念 来月23日、齋宮歴博で講演会(2024年10月9日 夕刊三重)
- ・衣装、英国男性も感心 明和町無形民俗文化財 有爾中かんこ、天王祭で(2024年10月15日 夕刊三重)
- ・伊勢の川を歩く⑩千種清美 齋王が禊をした祓川 (2024年10月31日 日せ毎日)
- ・2, 3日プロジェクションマッピング 源氏物語絵巻など投影 明和町齋宮さいくう平安の杜で
大淀祇園祭の山車、練り歩きや展示も(2024年11月1日 夕刊三重)
- ・明和町 平安の杜正殿脇に初展示 プロジェクションマッピングなどに合わせ
大淀祇園祭の山車(三世古地区所有の1基) 3地区の合同で引く(2024年11月5日 夕刊三重)
- ・明和町 役場に擬革紙マップなど 特別作品展で来場者と制作 伝承の会が町に寄贈(2024年11月14日 夕刊三重)
- ・松阪もめん 新柄を考案 御糸織物 創業150年記念で(2024年11月22日 中日新聞)
- ・松阪もめん 爽やか新柄 明和の老舗織元 創業150周年 伝統と斬新さ(2024年11月22日 読売新聞)
- ・坂本古墳群 発掘史などを説明 明和 県史跡指定20周年記念講演会(2024年11月24日 中日新聞)
- ・「物部氏通じ朝廷に奉仕」 齋宮博物館で豊島奈良大教授 坂本1号墳の「主」推理(2024年11月25日 夕刊三重)
- ・焼成抗228基は国内最多 齋宮博物館 北野遺跡(明和町 養村、明星)中心に土器展(2025年1月8日 夕刊三重)
- ・町の歴史、写真で振り返る 明和町郷土文化を守る会 味噌井さん(町齋宮跡・文化観光課)が講演 (2025年2月19日 夕刊三重)
- ・明和町教委 「高塚1号墳」町文化財に指定 櫛田川以南で県内最大規模
全長72メートル、5世紀中頃の帆立貝式古墳 有志が草刈りや説明会、取り組み実る 「齋宮に次ぐシンボルに」
周辺古墳と連なり「珍しい」 専門調査会 古墳時代の『政治』も考察できる (2025年3月25日 夕刊三重)
- ・明和町文化財に高塚古墳 72メートルの帆立貝式で町最大 (2025年3月26日 伊勢新聞)

評価軸⑤-2

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		年月日	掲載紙等
・齋宮歴史博物館が200万人達成で式典 明和		R6.4.13	中日新聞
・「齋宮がわかる1冊」 歴史博物館開館35周年記念 ガイドブックを販売		R6.8.24	伊勢新聞
・みやび 平安貴族のお正月 明和で体験イベント		R7.1.6	中日新聞
・史跡齋宮跡 齋王宮殿囲む堀跡発見 齋宮歴博、13日に現地説明会		R6.10.5	夕刊三重

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり

■計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

●齋宮跡等の展示・講座・イベントに関する記事

- ・「光る君へ」の時代ひもとく 明和町の歴史博物館 20日から「源氏物語と齋宮」展 収集関連資料の全容公開(2024年4月11日 伊勢新聞)
- ・齋宮歴史博物館が200万人達成で式典 明和(2024年4月13日 中日新聞)
- ・35周年節目に 齋宮歴博、来館者200万人突破 驚きの島田さん(四日市市)に認定証と記念品(2024年4月13日 夕刊三重)
- ・開館35周年記念「光る君へ」(NHK大河ドラマ)巡回展も 春季企画展 20日から「源氏物語と齋宮」開催(2024年4月14日 夕刊三重)
- ・入館者200万人突破 明和の齋宮歴史博物館(2024年4月13日 毎日新聞)
- ・来館者200万人を達成 35周年の明和町の齋宮歴史博物館(2024年4月13日 伊勢新聞)
- ・来館者200万人を達成 齋宮歴史博物館でセレモニー(2024年4月13日 朝日新聞)
- ・源氏物語での齋王 姿伝える 齋宮歴史博物館 屏風や絵巻など43点並ぶ(2024年4月21日 中日新聞)
- ・齋宮で仏教はタブー でも実際には浸透? 出土の瓦片から研究 明和町郷土文化を守る会 大川主査(齋宮歴博)が話す 伊勢神宮の神宮寺 伊勢寺に移転と考察(2024年5月20日 夕刊三重)
- ・平安時代後期の高坏など 齋宮歴博 速報展で「齋宮跡の白い土師器」(2024年5月27日 夕刊三重)
- ・齋宮の土師器 平安の美 明和の歴史博物館 国重文など展示「生活の様子 リアルに」(2024年7月18日 中日新聞)
- ・齋王たちのごちそうとは 齋宮歴博で夏季企画展 平安の規則などから推測
- ・常設展示を深掘り第4弾 資料など37件88点(2024年8月17日 夕刊三重)
- ・「齋宮がわかる1冊」 歴史博物館開館35周年記念 ガイドブックを販売(2024年8月24日 伊勢新聞)
- ・学芸員志望学生が「瓦経」紹介 齋宮歴史博物館で企画展「逸品」(2024年9月3日 中日新聞)
- ・齋宮歴博開館35周年記念 星空パネル展やラリー あすから イベント参加などでプレゼントも(2024年9月12日 夕刊三重)
- ・齋宮歴博 衰退、廃絶期の齋宮 焦点 来月5日から開館35周年特別展(2024年9月26日 夕刊三重)
- ・中世の齋宮・齋王 実態は 明和・歴史博物館 開館35周年記念の特別展(2024年10月9日 中日新聞)
- ・「今後も認知度向上させたい」 明和 齋宮歴史博物館35周年(2024年10月20日 中日新聞)
- ・齋宮博物館 衰退期の中世に焦点 来月24日まで特別展 危機や再興など6章建てで(2024年10月30日 夕刊三重)
- ・齋宮学講座 受講者募る 明和、14日まで(2024年11月13日 中日新聞)
- ・平安時代や齋宮 関心高めて 明和 きょうから展示、イベントも(2024年11月21日 中日新聞)
- ・平安貴族の文化 暮らしぶり紹介 明和で企画展(2024年11月23日 毎日新聞)
- ・出土品 現代風にアレンジ 齋宮歴史博物館で企画展 県ゆかり女性作家9人出展(2024年11月28日 中日新聞)
- ・現代作家が「出土品」創造 齋宮博物館で来月15日まで 県ゆかり女性9人が出展(2024年11月30日 夕刊三重)
- ・北野遺跡の土器生産に焦点 明和町・齋宮歴史博物館 きょうから県埋蔵文化財展 台形三角形の章焼成抗(2024年12月7日 伊勢新聞)
- ・発掘体験での土器など 齋宮歴博で19日まで 参加者が作った土馬も展示(2025年1月4日 夕刊三重)
- ・「刀筆の吏」がテーマ 10日にイブニング講座 齋宮歴博で(2025年1月4日 夕刊三重)
- ・みやび 平安貴族のお正月 明和で体験イベント(2025年1月6日 中日新聞)
- ・齋宮博物館 二十歳お祝い齋王居室開放 11~13日着物映え 記念撮影ステージに(2025年1月6日 夕刊三重)
- ・「まちかど博物館」収蔵品一堂に 明和 鉄びなや昭和映画のポスターなど(2025年1月27日 中日新聞)
- ・県文化財「伊勢物語図屏風」など 齋宮歴博あすから 開館35周年記念の特別企画展 学芸員歴35年の榎村さん、22日に解説会(2025年2月21日 夕刊三重)

●史跡齋宮跡発掘調査に関する記事

- ・齋宮跡発掘作業を公開 飛鳥奈良時代の宮殿、解明へ 明和町・歴史博物館(2024年6月4日 伊勢新聞)
- ・齋宮跡で発掘や復元を体験 伊勢・皇学館中2、3年生(2024年6月27日 中日新聞)
- ・宮殿囲む柱穴見つかる 明和町・齋宮歴史博物館 13日に発掘調査説明会(2024年10月4日 伊勢新聞)
- ・史跡齋宮跡 齋王宮殿囲む堀跡発見 齋宮歴博、13日に現地説明会(2024年10月5日 夕刊三重)
- ・齋王宮殿跡 熱心な古代史ファン集う 明和町の第207次発掘調査現場で 掘立柱堀など解説聞く(2024年10月16日 夕刊三重)
- ・来月、齋宮発掘現場を公開 明和町の歴史博物館(2024年10月30日 伊勢新聞)
- ・発掘の最前線、間近に見て 齋宮博物館 207次-2区(明和町竹川)を随時公開(2024年11月8日 夕刊三重)
- ・齋宮歴博 奈良時代の掘立柱建物跡 第207次発掘調査現場 来月1日に現地説明会(2025年1月23日 夕刊三重)
- ・掘って立て柱建物の柱穴跡見つかる 来月1日、明和町で説明会 齋宮歴史体験館(2025年1月30日 伊勢新聞)

評価軸⑤-3

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		年月日	掲載紙等
・齋宮跡を舞台に婚礼写真 観光商社や町プロジェクト 屋外撮影 ニーズ高く、観光と融合		R6.10.17	夕刊三重
・明和中2年 齋宮跡など巡り探究学習 生徒自身も「ガイド」務める		R6.11.8	夕刊三重
・齋宮ゆかりの妖怪 現代に復活！？ 明和で15日、イベント		R6.12.13	中日新聞
・これから訪れてみたい魅力的な日本遺産「齋宮」が全国3位 「ソムリエ」173人、候補104件から選ぶ 京都で表彰式、観光地の条件など評価		R7.2.17	夕刊三重

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

●史跡齋宮跡の活用に関する記事

- ・国の史跡「齋宮跡」で中学生が発掘体験 郷土の歴史を知る機会を提供 「伊勢神宮と関わりが深い齋宮跡について考えるきっかけに」 三重・多気郡(2024年6月26日 日テレNEWS)
- ・「齋王」何を食べてた? 歴史博物館で企画展 再現サンプルや病気の絵巻展示 真珠を模したチョコ アイスにちりばめる 観覧者50人に無料サービス(2024年8月2日 中日新聞)
- ・いつきのみや歴史体験館 来月16日に「観月会」ろうそく点灯サポーター募る(2024年8月24日 夕刊三重)
- ・周遊観光で連携へ 東海3県と2市 万博やアジア大会契機に 明和町で知事市長会議(2024年9月5日伊勢新聞)
- ・「東海三県二市知事市長会議」明和町で初開催、歴博視察 地域活性化など話し合う 河村市長「明和町とイベントしたい」(2024年9月5日 夕刊三重)
- ・ろうそく2000本に火、会場照らす 国史跡齋宮跡周辺で観月会 和楽器や「縁日」楽しむ(2024年9月17日 夕刊三重)
- ・平安時代の月見 思いはせ いつきのみや観月会 ろうそく2000本 幻想的に(2024年9月18日 中日新聞)
- ・子どもと自然つなぐ 町の観光振興などを担う「明和観光商社」職員 岡野 ころさん【みえ人模様】(2024年10月9日 中日新聞)
- ・齋宮跡を舞台に婚礼写真 観光商社や町プロジェクト 屋外撮影ニーズ高く、観光と融合 (2024年10月17日 夕刊三重)
- ・明和中2年 齋宮跡など巡り探究学習 生徒自身も「ガイド」務める(2024年11月8日 夕刊三重)
- ・儀式行う陰陽師など12人 来月21日出演者募る いつきのみやで追儼のまつり(2024年11月14日 夕刊三重)
- ・藤井フミヤさん(歌手)がロケ 7日放送BSフジ 明和町などで齋王の「謎」聞く(2024年11月30日 刊三重)
- ・平安時代の魅力を楽しんでほしい【出橋岬さん】(2024年11月号 youまつさか vol.209)
- ・古代伊勢齋宮の歴史とまつり 國大で公開シンポジウム 古代齋王宮殿の構造と変遷から 古代齋宮と神宮祭祀の比較など 活潑な討議展開(2024年12月2日 神社新報)
- ・齋宮ゆかりの妖怪 現代に復活！？ 明和で15日、イベント(2024年12月13日 中日新聞)
- ・「なやろう」唱和し鬼払い 明和町齋宮のいつきのみや歴史体験館で 年の瀬恒例「追儼のまつり」(2024年12月23日 夕刊三重)
- ・鬼はらい新年の幸せ願う「追儼」平安時代の大みそか行事を再現 三重・いつきのみや歴史体験館 (2024年12月23日 三重テレビ放送)
- ・紅梅、花咲かず 明和町竹川の齋宮歴博梅林で(2025年1月18日 夕刊三重)
- ・空高く、たこ200枚揚がる 齋宮歴博芝生広場で市民ボラが大会開く(2025年1月20日 夕刊三重)
- ・平安貴族に変身 齋宮跡で十二ひとえ姿 員合わせ、当時のお菓子も(2025年1月30日 毎日新聞)
- ・飲食などで活性化探る 17日に説明会 来年度、無料で1日～1週間 町の3施設、試験貸し出し トライアルサウンディング 平安の社と歴史体験館、茶屋(2025年2月13日 夕刊三重)
- ・映像投影と舞台がコラボ 23日午後6時 さいくう平安の社、観覧無料(2025年2月20日 夕刊三重)
- ・国史跡・齋宮跡の復元建物などで 初のウエディング撮影 5月に挙式、地元在住 新開さんと伊藤さん 家族見守る中、笑顔でポーズ 「生まれ育った地、愛着深まる」(2025年3月10日 夕刊三重)
- ・菜の花一面「齋宮跡」彩る 明和(2025年3月11日 中日新聞)

●日本遺産に関する記事

- ・日本遺産 条件付きも「認定」継続 明和町の「祈る皇女 齋王のみやこ齋宮」「参画増やし価値【見える化】を」(2024年12月27日 夕刊三重)
- ・明和町 織物など地域文化学び共有 町日本遺産活用推進協 下御糸地区で初の講座 (2025年1月20日 夕刊三重)
- ・これから訪れてみたい魅力的な日本遺産「齋宮」が全国3位 「ソムリエ」173人、候補104件から選ぶ 京都で表彰式、観光地の条件など評価(2025年2月17日 夕刊三重)
- ・文化財の魅力を伝える機会に(日本遺産の認定)【社説】(2025年2月20日 読売新聞)

●歴史的風致維持向上計画に関する記事

- ・齋宮の県道 かぎ形解消、見通し良好 竹神社前交差点 ポケットパークも今後整備(2024年5月17日 夕刊三重)
- ・明和 竹神社前の県道工事 交差点 十字形で見通し良好 住民「安全につながる」(2024年6月22日 中日新聞)

評価軸⑤-4 効果・影響等に関する報道		評価対象年度	令和6年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
・6月1日斎王まつり「群行」伊勢街道へ8年ぶり 夜の群行もリニューアル 斎王ゆかりの竹神社前再び通る あでやか 平安装束、総勢80人 斎王市など過去最大120店以上が出店予定	R6.5.1	夕刊三重	
・「斎王」観客魅了 夜道彩る十二単 明和	R6.6.4	読売新聞	
・麻栽培2年目、豊かに成長 斎宮跡で刈り取り神事 高さ3メートル超に 明和町など産学官8団体	R6.7.22	伊勢新聞	
・4月から明和観光商社 いつきのみや体験館などの指定管理者 新たな活用に期待 三重	R7.3.29	夕刊三重	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			
<p>●斎王まつりに関する記事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・斎王群行【コラム 波の詩】(2024年4月13日 中日新聞) ・6月1日斎王まつり「群行」伊勢街道へ8年ぶり 夜の群行もリニューアル 斎王ゆかりの竹神社前再び通る あでやか 平安装束、総勢80人 斎王市など過去最大120店以上が出店予定(2024年5月1日 夕刊三重) ・地元PRこれからも「斎王まつり」で主役を務める東京大2年 三田 空来さん【みえ人模様】(2024年5月8日 中日新聞) ・斎王衣装で県庁訪問 まつり 明和で来月1日(2024年5月14日 読売新聞) ・斎王役・三田さんら意気込み 来月1日、斎王まつり(2024年5月14日 朝日新聞) ・斎王役の東大生ら知事に祭りをPR 8年ぶり旧伊勢街道で群行 明和で来月1日(2024年5月14日 毎日新聞) ・来月1日 明和で斎王まつり「群行」伊勢街道で 8年ぶり(2024年5月15日 中日新聞) ・出演者ら知事に斎王まつりPR 明和で来月1日開催(2024年5月15日 中日新聞) ・明和「斎王まつり」憧れのお姫様役「祖父母に恩返しを」来月の晴れ舞台 心待ち 伊勢出身の東大生 三田空来さん(2024年5月23日 毎日新聞) ・【すがお】子供時代から群行に賛歌 来月1日に開かれる斎王まつりで斎王役を務める 三田 空来さん(20) (2024年5月29日 夕刊三重) ・あす「斎王まつり」さいくう平安の杜周辺 斎王群行は昼と夜 斎宮歴博で関連イベント 1日は午後8時まで開館(2024年5月31日 夕刊三重) ・「群行」再現 色とりどり 明和で斎王まつり【2024年6月2日 中日新聞】 ・あでやか斎王群行 明和町で斎王まつり(2024年6月2日 伊勢新聞) ・あの日憧れた晴れ姿に 明和「斎王まつり」にぎわう 伊勢出身・三田空来さん(2024年6月2日 毎日新聞) ・平安装束まとい 斎王群行 旧伊勢街道など(2024年6月2日 朝日新聞) ・斎王まつり 8年ぶり参宮街道で群行 明和町斎宮 平安の杜周辺 平安絵巻、観衆ら沿道埋める (2024年6月3日 夕刊三重) ・「斎王」観客魅了 夜道彩る十二単 明和(2024年6月4日 読売新聞) ・絵巻に酔いしれ 明和・斎王まつり(2024年6月4日 中日新聞) ・斎王賞に山下さん 明和町 斎王まつり フォトコン入賞者決定(2024年9月6日 伊勢新聞) ・斎王まつりフォトコン 町教育長賞に間宮さん(明和町佐田) 入賞入選作は斎宮歴博展示 議長賞に後藤さん(平成町)(2024年9月19日 夕刊三重) ・斎王まつりの情景写す 度会町で井上さん展示(2024年10月19日 伊勢新聞) ・6月7日「斎王まつり」第40代斎王役に菅尾さん 双子の妹・夏希さんは第37代、姉妹で務める (2025年3月10日 夕刊三重) ・主役に津出身・菅尾さん 6月の明和・斎王まつり「町の良さPR」(2025年3月11日 中日新聞) <p>□</p> <p>天津菅麻プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・麻の聖地へ 明和で種まき 斎宮跡の畑 宮司や学生らの神事も(2024年4月21日 中日新聞) ・麻栽培2年目、振興願う 明和町など産学官8団体 斎宮跡で種まき神事(2024年4月21日 伊勢新聞) ・産業、神事用大麻 収穫に感謝し神事 明和(2024年7月22日 中日新聞) ・麻栽培2年目、豊かに成長 斎宮跡で刈り取り神事 高さ3メートル超に 明和町など産学官8団体(2024年7月22日 伊勢新聞) <p>●その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明和町来年度 斎宮跡・文化観光課を移転 いつきのみや地域交流センターに 町直営で年700万円削減 観光交流の拠点、再活用へ(2025年2月26日 夕刊三重) ・経費削減と観光活用 推進へ 明和町「斎宮跡」3施設 指定管理者変更 2施設 審査通過の事業者(2025年3月6日 中日新聞) ・4月から明和観光商社 いつきのみや体験館などの指定管理者 新たな活用に期待 三重 事務所移転で1～3日休業 いつき茶屋と地域交流センターも(2025年3月29日 夕刊三重) ・休憩スペースリニューアル 県産木材でこだわりの椅子とテーブル 三重・斎宮歴史博物館 (2025年3月31日 三重テレビ放送) 			

評価軸⑥-1
その他(効果等)

	評価対象年度	令和6年度
--	--------	-------

住民意識の向上

計画に記載している内容 地域の歴史的資源の保全や伝統文化の継承に取り組む各種団体を町内だけでなく、「斎宮」と深い関わりを持つ伊勢市内(伊勢神宮)の団体を含め、町広報等で紹介したり、各種イベントやシンポジウムの開催時に発表の場や機会を設けたりして活動の活発化を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

1. 竹神社では、毎月満月の夜「満月夜参り」や「花手水」の実施。
2. 地域の住民が古民家を活用したイベントの開催や個人又は団体が、地域の文化財の案内、草刈り、植栽などを実施するなど住民による様々な取り組みが行われている。
3. めいわ観光まちづくり研究会が設立され、地域活性を向上させるためのアイデア、事業の取り組みなど情報交換が行われている。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



伊勢街道にぎわいまちづくりを考える会 (1月9日)



ボランティアによる桜ライトアップ(4月5日~7日)



竹神社:花手水



昔の風景の再現:だいこんのはさ掛け(12月21日)



いつきのみや凧揚げ大会(1月19日)



鎮守の森楽社 (8月20日)

評価軸⑥-2
その他(効果等)

	評価対象年度	令和6年度
--	--------	-------

項目

学校教育との連携

計画に記載している内容 小学校等の教育の場において、町内の歴史文化に直接触れ、親しむ時間を設けるなどして、次代を担う人材の育成にも積極的に取り組んでいく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

日本遺産マンガ解説本の授業での活用のほか、出土品に触れてもらったり、まつりの道具を体験したり、現地を見学したりして、歴史教育などを行った。また、小学校教員を対象とした文化財の研修も行き、町内の歴史文化に触れてもらうよう取り組んだ。また、令和7年度の本格運用に向け、小中学校郷土学習の一環として、「めいノート」、「デジタル補助教材」を作成し、試験運用を開始した。(https://www.town.meiwa.mie.jp/main/soshiki/saikuuato/bunkazaik/kyoudogakusyuu/4154.html)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり
■計画の進捗に影響なし

今後も引き続き、学校と連携を取りながら、歴史文化に触れる機会をつくっていく。

状況を示す写真や資料等



めいわ楽習副読本「めいノート」



めいわ楽習「デジタル補助教材」



大淀小学校 町指定民俗文化財
大淀の祇園祭り授業(6月18日)



明星小学校 町指定民俗文化財
有爾中の天王踊り、菘村の虫送り体験授業(9月17日)

項目

学校教育との連携

状況を示す写真や資料等



明星小学校出前授業(6月18日)



下御糸小学校 業平松見学(9月27日)



斎宮小学校 伊勢街道見学(11月18日)



法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和6年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称： 明和町歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時	令和7年3月21日(金) 書面決議
(コメントの概要)	
議事の内容 1. 明和町歴史的風致維持向上計画の軽微な変更について	
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ①軽微な変更の承認 ②計画も後期に向けて折り返しとなり、これまでの振り返りと後期に向けて見直しが必要。 ③「史跡齋宮跡保存活用計画」が策定される見込みとのことで、今後連携した事業の進捗をお願いします。
回答	<ul style="list-style-type: none"> ①軽微な変更の届出を実施する。 ②R7年度に計画全体の振り返りと見直しを実施していく。 ③齋宮跡のマスタープランとして策定しているので、連携して事業を実施していく。
(今後の対応方針)	
<p>・町全体の文化財のマスタープランである「明和町文化財保存活用地域計画」とのこれまで同様に連携を図る。</p> <p>さらに、3月に史跡齋宮跡のマスタープランとして新規に策定予定である、「史跡齋宮跡保存活用計画」とも十分に連携して事業を進めていく。</p>	